

全国のウエイトリフティング部に所属する生徒の皆さんへ

全国高等学校体育連盟が4月26日夕方、新型コロナウイルスの収束には相当な時間がかかること、競技中や移動、宿泊による感染が広まる可能性があること、学校の臨時休業で十分な練習時間を確保することが困難なことから、8月10日から14日にかけて開催予定であった全国高校総合体育大会（インターハイ）の開催を中止することを発表しました。

そして、先日、7月17日から開催予定であった全国高校女子選手権大会の中止を決定したところです。昨年、3月25日から開催予定であった全国高校選抜大会の中止が決定された時から、夏に向けて準備をしていた3年生にとっては、非常に厳しい結果となり、大変心苦しく残念に思っています。

また、大会開催に向け準備してくださっていた、石川県金沢市と愛知県一宮市、茨城県高萩市の大会関係者の皆様並びに関係生徒の皆さんにとっても、今までの準備に感謝申し上げるとともに、生徒たちの安心・安全を確保するための決定にご理解いただいたことを重ねて感謝申し上げます。

今、日本中の高校生アスリートが苦しんでいます。夢や目標を失って喪失感でいっぱいなリフターも多いと思います。そして、皆さんとともに夢を共有し指導してくださった顧問の先生方や保護者の皆様方も同じ思いです。

多くのメディアを通して、日本を代表するアスリートの方々から高校生アスリートへの応援メッセージを目にする機会が増えました。その中でも「あらためて自分の行っている競技を好きになる。」「今できることをコツコツと取り組む。」「今まで努力したことは蓄積されていて、将来に必ず生きてくる。」など、様々な経験をしてきたからこそ発信できる「励ましの言葉」に皆さんも励まされていると思います。

現在、練習を再開できている生徒の皆さんや、まだ臨時休業が続いている皆さんなど、暮らしている地域によって様々な自粛生活を続けていると思います。このような時こそ、あらためてもう一度、ウエイトリフティングに向き合って、これから将来にわたってウエイトリフティングを生涯スポーツとして取り組んでほしいと思っています。目の前の目標はなくなりましたが、将来の目標はまだたくさん見つかるはずです。1日も早く、次の夢や目標を見つけ、今できることを今まで同様、一つひとつ取り組んでほしいと思います。部活動が再開された後、みなさんが仲間や顧問の先生とともに、笑顔で練習に取り組むことを期待しています。

令和2年5月18日

全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部  
部長 後藤 直樹